

第 88 回会議(2013 年 10 月 28 日開催)の結果について

■ 冬のイベント事業について

- 古橋事務局次長より、冬のイベント事業について運営会にて議論した内容の報告を行った。(資料①、みなとイルミナート 2013 チラシ)
- 審議の結果、引き続き事業を進めていくことが確認された。

■ 名古屋市へ要望する事業について

- 古橋事務局次長より、名古屋市へ要望する事業について運営会にて議論した内容の報告を行った。(資料②)
- 住宅都市局の鈴木(英)委員より、跳ね上げ橋の補修とプロムナードの整備は築地ポートタウン計画の中で協議している事項であることが報告された。その上で、築地ポートタウン計画の見直し会議の進捗説明が行われた。(資料 築地ポートタウン計画パンフレット、築地ポートタウン計画の見直しについて)
- さらに、名古屋港管理組合の則竹氏より、跳ね上げ橋の現状や補修計画、及び防潮壁の液状化対策のスケジュール、さらにプロムナードの進捗について報告を行った。(資料 名古屋港管理組合総合開発室資料)
- 審議の結果、跳ね上げ橋の南北の防潮壁の端に、視点場の整備が必要だという要望について、物理的に可能かどうかを名古屋港管理組合に検討してもらい、25 年度中に回答をいただくことが確認された。
- また、同じく名古屋港管理組合に、跳ね上げ橋から稲荷橋の間にある、防潮壁の外側のスペースで映画やコンサート等のまちづくりの事業を実施する際の手続きについて確認してもらうことが提案され、案の通り承認された。
- 続けて、港土木事務所の鈴木(祥)委員より、小構造物の内の歩行者系サインに関して今後の流れの説明を行った。
- 審議の結果、小構造物の充実については、歩行者系サインの検討を項目として残すことが確認された。

■ 協議会事業計画について

- 古橋事務局次長より、協議会事業計画について運営会にて議論した内容の報告を行った。(資料③)
- 審議の結果、案の通り承認され、今後の進め方については、運営会に一任されることが確認された。

■ その他

- 提案公募型事業の旧防潮壁の修景事業について、防潮壁は、今年は片面を白面のまま残すことが決まったことが確認された。
- 次回の協議会は 12 月 3 日(火)、18 時 30 分から西築地コミュニティセンターにて開催することが確認された。